

地域密着型サービスの自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	施設開所時にグループホーム明照の理念を作り、理念に基づき、日々職員間で協力しながら取り組んでいる。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月2回の職員会議の中で、理念唱和を行い常に共通認識を高めている。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	玄関先に理念を掲示し、面会時や訪問の際に確認及び必要に応じて説明できるように取り組んでいる。 また、パンフレットにも記載し民生委員や地区長に配布している。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	活動中の散歩の際には、近所を散歩範囲としており近隣の方とのあいさつや会話をし交流を図っている。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の老人会の方々に協力をもらい、施設に招きボランティアで様々な芸を披露してもらっている。そこで、交流を図っている。 しかし、こちらから出向く様な機会を設けていないので取り組んでいきたい。	○ 地域の行事などに、参加できる機会を増やしていきたい。 (開所して1年過ぎた所で、地域との関わりが、まだまだ少ない事を自負している)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	散歩活動を兼ねて、地域のゴミ拾いを定期的に行い地域に貢献している。	○	地域住民が気兼ねなく足を運んでいただけるような環境が必要。 施設内のスペースを自由に利用し、何かクラブ活動など行えるような取り組みを目指していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	初めての外部評価なので、まだまだ実施する意義を理解できていないのが現状。	○	外部評価を受けて、全職員で評価に基づき話し合いを持ち改善していきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で、施設側の状況を知ってもらい、また、家族代表者からの希望や要望を受けて出来るだけ要望に沿えるように職員間で検討して改善に取り組んでいる。	○	開催機会が少ないので、計画的に定例での開催を目指していきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村が主催する研修会には参加している。研修内容の報告を復命し、サービスの質につながるように努力している。 また、不明な点などは電話連絡し確認するようにしている。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	宮崎県社会福祉研修センターが主催する研修に参加し権利擁護などを学んでいる。 また、職員会議の中で復命研修として報告を行っている。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に関する研修に参加し、職員会議の中で復命研修を行い、理解を深めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時や退居時には、ゆっくり時間をかけて説明し理解していただいた上で同意をもらっている。また、質問に対しての回答も分かりやすく丁寧な説明に心がけている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>きちんと入居者と向き合い、納得して頂けるような対応を行っている。また、年2回程度第三者委員会で報告し指導・助言をもらい改善に努めている。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月の請求書発行時に入居状況を把握できるように簡単なコメントを添えて送付している。また、グループホーム明照新聞を作成し配布している。また、入居者が家族に伝えて欲しい内容や施設側からの報告事項については、きちんと電話連絡し報告している。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会を開催し、そこで意見交換を行い改善すべき内容については、職員会議で話し合い改善に努めている。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員からの意見を聞く機会として職員会議で時間を設けている。また、法人として年に1回以上は理事長・事務長と直接面談できる機会を設けている。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>希望休を事前に確認した上で勤務表を作成している。また、職員体制に問題なければ出来るだけ有給休暇の消化を目指している。また、急用・体調不良などの勤務変更は出来るだけ希望に添えるように心がけている。(必要に応じては、隣接施設職員の協力要請もあり)</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	○	出来るだけ馴染みの出来た関係を崩さないように、人事異動などは行わないように努めていきたい。
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	○	きちんと年間計画を立てて研修から学んだ事をケアに活かせるように努めていきたい。また、職員が関心のある研修にも積極的に参加できる環境を作っていきたい。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>		
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	○	勤務状況などを管理者が把握し、個々の職員が能力を活かせる職務が行えるように努力したい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	初回面接時は、本人や家族から話を十分に聞けるようにゆっくり時間をかけている。 また、本人や家族の要望や状態などきちんとアセスメントして職員に情報提供し、入居してから安心して本人らしい生活が出来るように努めている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	初回面接時は、本人や家族から話を十分に聞けるようにゆっくり時間をかけている。 また、本人や家族の要望や状態などきちんとアセスメントして職員に情報提供し、入居してから安心して本人らしい生活が出来るように努めている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームとしての可能な支援状況をきちんと説明している。 また、説明した上で他サービスの要望や希望があれば出来るだけ協力し関係機関の紹介を行っている。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には、本人・家族には必ず見学をお願いしている。見学を通して不安を解消してから利用の話を進めさせてもらっている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者と職員との関係でなく、お互いが家族として思いやれる関係を目指している。	○ 入居者が生き生きと過ごせる、持っている可能性を職員が引き出し一緒に取り組める生活や活動を築いていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族に出来るだけ面会をお願いし情報交換を行い、その中でケアの方向性を確認し同意を得ながら家族の意向も踏まえた本人らしい生活が送れるように取り組んでいる。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人が要望された事などは、面会時や電話連絡を行い本人と家族の心の距離がきちんと保てるように努めている。	○	面会が少ない家族への働きかけをもっと行っていく必要がある。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人や友人の面会は歓迎している。また、外泊や外出への働きかけも家族にお願いするようにしている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者、それぞれの性格や特徴を踏まえて席や居室の配置など工夫している。全入居者が揃い、会話や活動を共に行える時間の提供に努めている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院時などは、出来るだけ面会の機会を持ち関係を断ち切らないように努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	事前のアセスメントに加え、常々コミュニケーションから本人から要望や希望に耳を傾けて意向を把握し実践出来るように努めている。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	在宅生活で馴染みのある生活用品を出来るだけ持参してもらい、環境が変わらないように居室の雰囲気作り努めている。 また、その人らしい生活が送れるように本人中心の生活が送れるように支援している。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	その人らしい生活が送れているか、きちんと日々の生活状況の把握を行い、モニタリングし職員会議で検討している。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当スタッフが中心となり、計画に基づいてケアがきちんと出来ているかを検討しながら本人の意向を大事に目標を作成している。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	モニタリングを毎月行い、職員間で検討し3カ月に1回見直しを行っている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	24時間シートを工夫しながら活用し、現状だけでなく隠された背景に目を向ける記録スタイルに取り組んでいる。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、馴染みの関係を大切にしながら事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	協力医療機関への通院介助は出来るだけ対応し、また家族にお願いする時は生活状況を病院側に相談できるように手紙を作成している。 また、同法人内の利用者同士の交流の機会を設けている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	年1回、地域の消防団に協力をもらい防災訓練を行っている。	○	広報誌を定期的に作成し、地域への配布を行う事などで地域に開かれた密着した施設を目指していきたい。(地域行事等に積極的に参加していきたい)
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	隣接している同法人内の居宅介護支援センターへ相談・援助をもらいながら本人・家族の意向に沿ったサービスを取り入れながらの支援に努めている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議への参加をいただき、意見や助言をいただいている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関への通院は出来るだけ施設で対応し連携を密に行いながら支援している。また、病状の急変などあった場合は協力医療機関へ指示を仰ぎ対応している。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	家族やかかりつけ医などに相談しながら専門的な治療を要する場合は、専門医療機関への受診を促し、初回については、出来るだけ同行受診し生活状況を相談しながら適切な治療が受けれるように努めている。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療的な判断は、看護師に指示を仰ぎ必要に応じては隣接している事業所の看護師にも助言をもらっている。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院中の様子を確認するために面会を行い、病院関係者と情報交換を行っている。また、退院時のカンファレンスには必ず出席するように努めている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	開所して1年余りにて、看取りの方針がまだ出来ていない。	○	入居された方が、最後の生活の場として選んで頂けるようにサービスの幅の拡大を目指し、職員一人一人のスキル向上に努めていく。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	開所して1年余りにて、看取りの方針がまだ出来ていない。	○	入居された方が、最後の生活の場として選んで頂けるようにサービスの幅の拡大を目指し、職員一人ひとりのスキル向上に努めていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	情報提供を本人・家族に断った上で行い、スムーズな住み替えが出来るように努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入室の際への声掛けや本人の私物の取り扱いには十分配慮しながら対応している。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	分かりやすい説明に心がけて、日常生活の自己決定が行えるように努めている。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自由に生活が出来るように、施設側が準備した活動などもあるが、活動前の意志決定は本人に行って頂いている。	○	本人が一日どう過ごしたいかを確認しながら個別的な生活が今以上取り組める努力をしていきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	着衣する洋服については、本人の意思を尊重しながら支援している。 理容・美容については、定期的に施設に招き対応している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>今後は、入居者と一緒に献立の立案や買い物などを行っていきたい。</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	<p>生活歴を探り、もっと秘められた個々の能力を引き出しながら本人が楽しみながら出来る事を増やしていきたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預かり書を発行し、出納帳で管理しながら行事の際での買い物など楽しめるように支援している。	○	買い物や病院診療費用など、支払い能力がある方には一緒に行えるように努めていく。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	月に1回程度は、外出の機会を設けている。 (お花見・買い物・外食など) 天候が良い日は、出来るだけ外の空気に触れるため散歩や外気浴を楽しめるように努めている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	入居者、各々からの要望は聞いているがなかなか実現出来ていない。	○	家族の方にも協力をもらいながら、宿泊旅行など取り入れていけるように家族会等で提案していきたい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状や暑中見舞いなど、職員がお手伝いしながら家族宛に出している。 また、電話支援については随時対応している。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気兼ねなく面会できるように明るく丁寧な対応に心がけお茶やおやつのおもてなしを行っている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については、出来るだけ行わないように努め止む終えない時にはきちんとマニュアルに基づいて家族へ説明・同意をもらい行っている。 また、拘束をしない検討を常に行なっている。	○	身体拘束をしない方針で、もっとケアのスキルを向上していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	<p>まだ1度しか行っていないので定期的に取り組めるよう地域の関係機関と連携を図っていきたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	転倒のリスクや急変リスクがある入居者については、きちんと家族と対応策を検討し指示や助言をもらいながら対応している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎月、かかりつけ医への受診を行い主治医に生活状況を報告して助言をもらっている。また、毎朝・夕にバイタルチェックを行い健康面の把握に努め、異常時は主治医へ連絡し指示を仰ぎながら対応している。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師中心に服薬管理は行っている。処方の変更になった場合は、申し送り記録に記載し職員間で情報共有している。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	出来るだけ水分補給に努めている。毎日、10時には乳製品を提供している。排便管理として、排泄チェック表に記録し適切な対応を行っている。また、必要に応じてはかかりつけ医に相談し緩下剤等の調整について相談している。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアを実施し義歯の不具合などあった場合は家族や協力医療機関に報告し適切な対応に努めている。また、口腔ケアの動作についても出来ない部分のみ支援を行っている。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量については、記録に記載し把握に努めている。また、食事前には摂取動作をスムーズに行えるように口腔体操を行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染の疑われる入居者については、家族やかかりつけ医に報告し、適切な指示を仰いでいる。インフルエンザ予防接種についても、入居者・職員全て予防接種を行っている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具については、きちんと熱湯消毒など行い食材についても、新鮮で新しい物を準備している。 (買い置きはなるべくしないようにしている) 調理に携わる職員については、毎月検便を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先には腰かけを準備し出入りの際の履物を履きやすく脱ぎやすい工夫をしている。また、テラスには椅子とテーブルを置き外気浴しながら外の環境を見晴らせる環境を作っている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関先には、水槽で魚を飼っており共存していて居間の壁には季節感を感じさせる壁画などを掲示するように努めている。（お雛様や角松など）		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	6人掛けのテーブルが2台あり、入居者同士の関係を把握しながら席の配置の工夫やソファを居間に置き日光浴を楽しみながら語らいの時間を楽しまれている。	○	居間の横に和室を準備しているが、活用できていないので活用していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	○	<p>まだまだ、本人と向き合い可能性に秘めた能力と一緒に気づき、様々な事に挑戦していきたい。</p>
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	○	<p>園芸活動を取り組みやすくするため、高さのある花壇を整備していきたい。 (腰痛がある方の参加が難しいため)</p>

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼ全ての家族と
		○	②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ご利用者様が安全に安心して本人らしい生活が送れるように、職員間で情報を共有しながら心に寄り添うケアに努めています。

開設して、1年が過ぎた所で少しずつ地域に浸透し認められてきた所です。

もっと地域との関わりを持つために、地域への貢献や行事への参加に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

また、同敷地内に保育園があり園児との世代間交流やデイサービスの利用者様との同世代交流の機会を持ち、出会いから生まれる喜びを感じていただく事を目的として交流会の機会を積極的に設けています。

ご利用者様・ご家族の意向を最優先に考え、ご利用者様と職員の関係でなく何でも分かち合える家族のような関係を目指し共に喜怒哀楽を感じながら自然で自由な生活を目指しています。